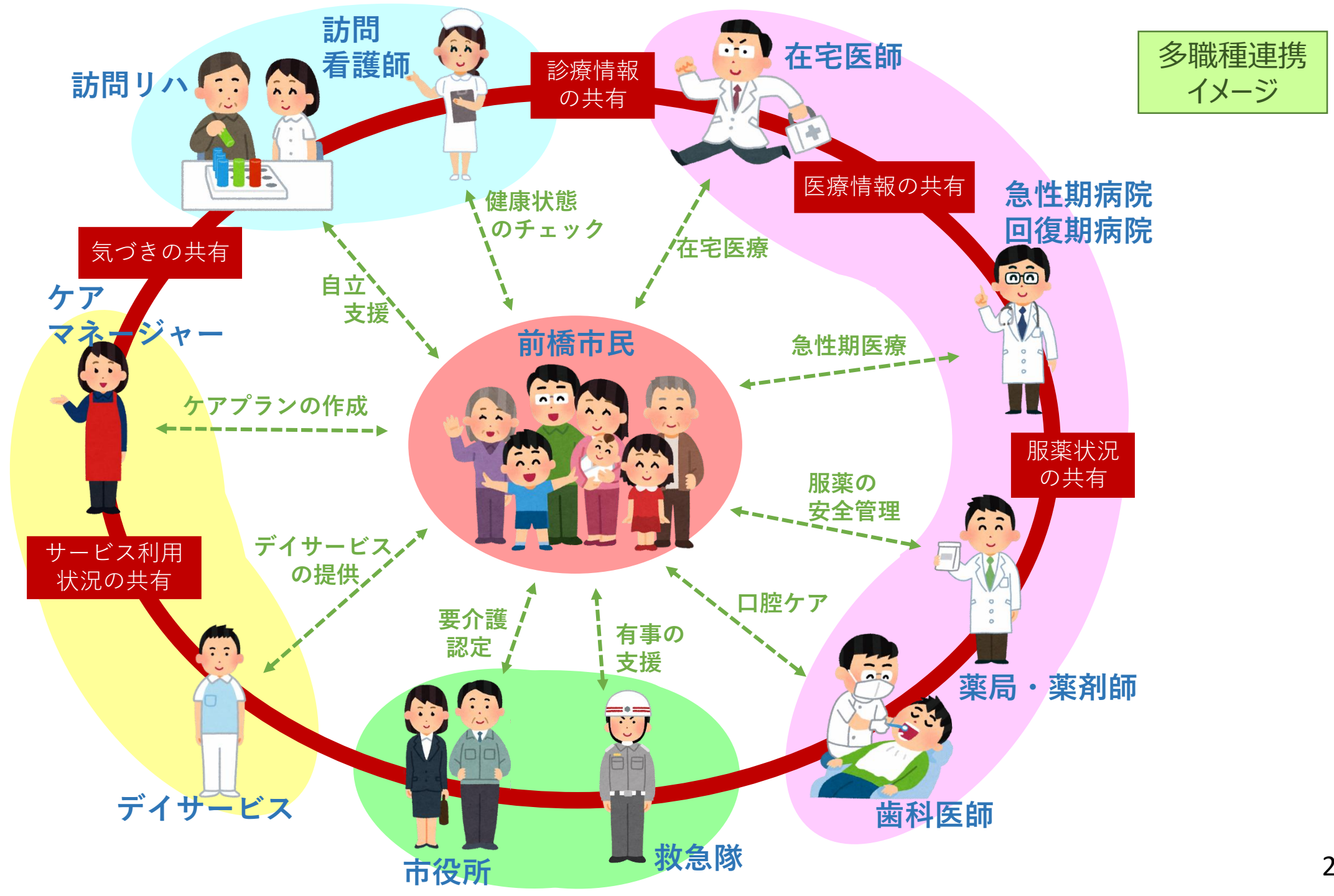


<b>WG名</b>	⑥業務システム（健康・福祉）WG
------------	------------------

<b>項 目</b>	<b>内 容</b>
①実現したい未来	多職種の協働を支える情報共有基盤を整備して患者や家族に関わる情報を地域全体で共有し、途切れのない有意義な医療・介護サービスを提供する。
②背景・現状	健康福祉行政の推進にあたっては、患者や家族にとって途切れのない医療・介護サービスを提供することが求められており、今後ますます需要が高まると想定されている。
③課題	現状は官民間わず多くの関係者間での調整が電話・FAX・紙文書等の送付により行われており、情報共有に手間がかかっている。
④原因	リアルタイムで患者や家族の情報を共有できる場がない。
⑤解決策	クラウドサービスを利用し、地域における医療・介護コミュニティの再構築を行う。 （バーチャルによる補完）
⑥得られる効果（予測）	例：100件/日の電話対応時間の削減
⑦R3年度取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タスクの洗い出し</li> <li>・ペルソナを設定し、必要なタスク（関係者・情報・課題など）の深掘りを実施</li> <li>・関係者や情報がどのように連携し、つながっているかを整理</li> </ul>
⑧今後の展開 （スケジュール）	システム導入に向けたRFI・RFP、医師会等外部機関との調整、個人情報取扱の整理、試行運用、予算要求



# タスクの洗い出し

## なぜ、なんのために



## ゴール



## 関係者



## なにを



# ペルソナの設定

ペルソナとは、「リアリティのある架空の人物像」のこと。

ペルソナを設定することにより、具体的な対象者をイメージしやすくなる。

WGメンバーで共通のペルソナをイメージし、それぞれのペルソナの視点で具体的なタスクの洗い出しを行った。

名前	国保 花子
年齢・性別	72歳・女性
住所	大前田町（バス停まで徒歩30分）
家族構成	夫（82歳） 夫一患者の介護を行うが腰痛などの持病があり通院中。高齢のため介護も困難になってきた。 子（男性・51歳）子一九州におり支援は困難。
かかりつけ医	せせらぎ病院
病歴	慢性腎不全・2類糖尿病・高血圧症・脳梗塞
受診歴	せせらぎ病院（毎月1回受診）、群馬中央病院、西田整形外科など
高齢受給者証	2割負担
介護保険利用認定証	区分Ⅱ（交付あり）
特定疾病受診証	腎不全 1万円
身体障害者手帳	1級
福祉医療	資格あり
生活環境	持ち家2階建て 1階に居住 毎年群馬中央病院で11月頃に人間ドック受診をしている。 服薬管理も怪しく、残薬が目立つようになっている。日中は（心身の状態）脳梗塞による右上下肢機能障害で歩行困難。日中は（心身の状態）脳梗塞による右上下肢機能障害で歩行困難。日中は（心身の状態）脳梗塞による右上下肢機能障害で歩行困難。 ペット中心の生活、車いすでの移動は可。以前の趣味は組み物サークル。

名前	梅宮 達二郎
年齢・性別	85歳・男性
住所	前橋市朝日町（現在、高齢者施設に入所中）
家族構成	息子夫婦
運動機能状態等	日常生活動作の低下、介護なしには日常生活は困難
既往症	高血圧・糖尿病・リウマチ・肺癌（在宅酸素）
かかりつけ医	日ハムクリニック・前橋中央病院
ヘルパー	息子・その他、有事の際に連絡の取れる親戚あり
その他	最近、肺癌の悪化が進んでおり、日ハムクリニック医師と延命処置について協議中。

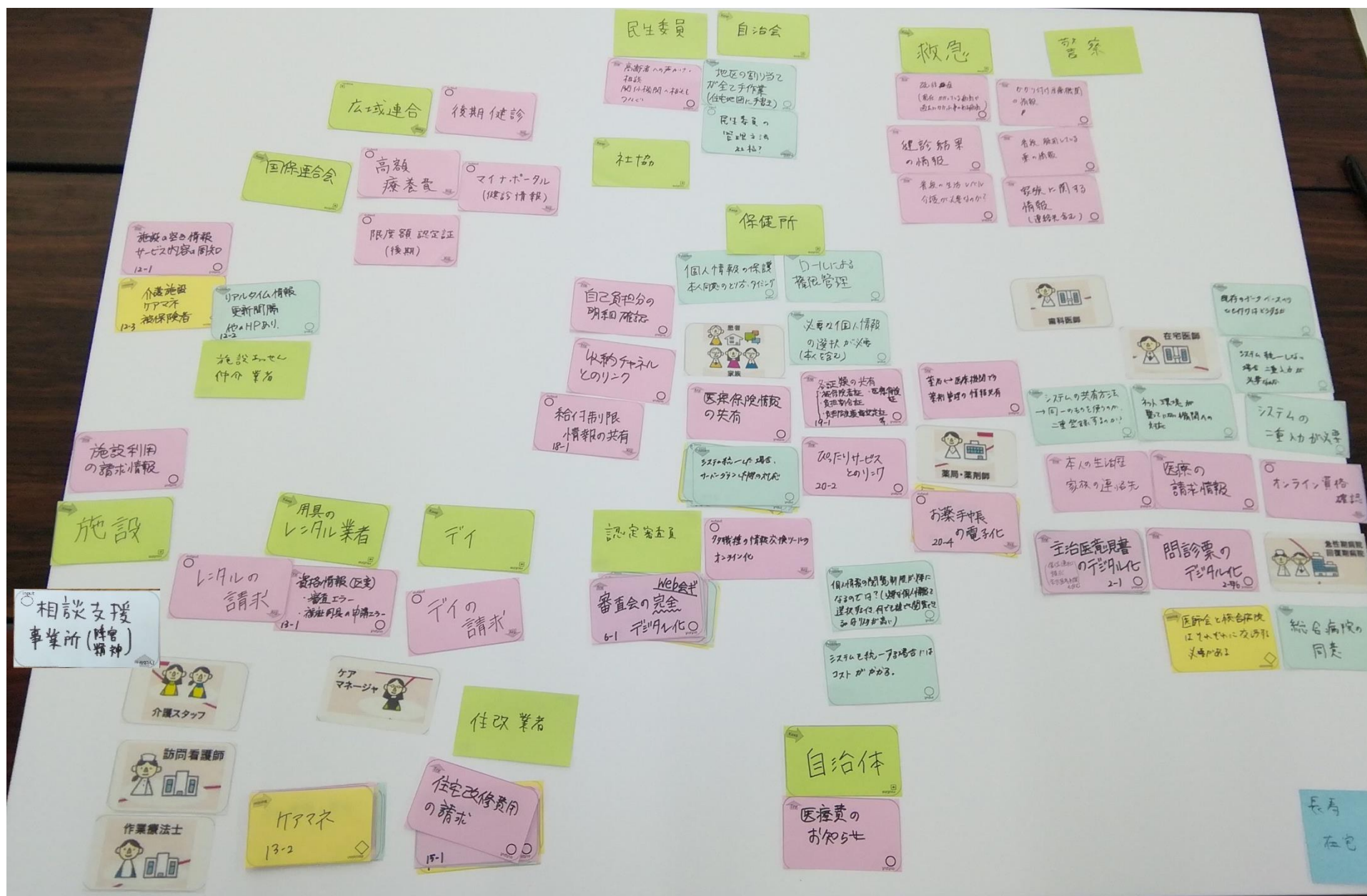
名前	東矢 もみじ
年齢・性別	7歳・女性
住所	前橋市上新田町
家族構成	父（会社員）・母（専業主婦）・本人
運動機能状態等	良好
既往症	特になし
アレルギー	小麦（エビパン処方あり）
かかりつけ医	利根小児科クリニック 山田医師
ヘルパー	両親
学校・塾等	利根川小学校
その他	過去にもアレルギー症状を発症しており救急搬送歴あり。学校にはエビパンの所持について申請済み。学校でのエビパン使用歴はなし。

名前	長寿 太郎
年齢・性別	75歳・男性
住所	前橋市六供町
家族構成	住宅型有料老人ホームに3年前より入所 身寄り無し 保証人はNPO団体に依頼
要介護度	介護2
担当ケアマネ	居宅朱咲 鈴木さん
サービス利用	系列デイ週5回（入浴はデイのみ）、ヘルパー週1回、訪問週1回、福祉用具レンタル（車いす、ベッド）
かかりつけ医	富士たちばなクリニック
病歴	脳血管疾患（右麻痺）、高次脳機能障害、高血圧
最近の悩み	夜よく眠れない 体が動かなくなってきたて生きがいを感じない

住所	前橋市
家族構成	本人・息子（小学生）・娘（保育園児）
病歴	てんかん（3名）、精神不安定（本人）、ADHD（息子）
利用サービス	生活保護、ショートステイ（短期入所生活援助事業）、子ども見守り宅食事業
対応履歴	平成30年中の転居により対応開始。当初DV被害により母子のみで前橋市内の単家に転居。 DV被害者は子から見れば祖父で、息子に対しての身体的・精神的DVが認められている。 実家との関係性は良好とは言えず既に転居済み。現在は母子のみで生活している。 今年に入って本人が妊娠。入院中はショートステイを利用し、面倒を見てもらう予定。 ADHDによる子の問題行動が多く、学校や行政との話し合いが頻繁に行われていたが、 専用の車による治療が始まってからは、比較的通常の生活が送れているとのこと。



## ペルソナを題材にしたタスクの深掘り



# 関係者・情報などの連携・つながりを検証

